

とや高等小学校をつくること。そして、2つの村を1つにして強い力を持つ村にしたいという考えなどからでした。反対の意見もあって、なかなかまとまりませんでした。結局は、県の強い指導があって合併することになりま



▲当時の新聞記事

した。しかし、こんどは、村の名前をどうするかもめしました。「大」と「野」をとって「大野村」にしようという考えに、まとまりかけましたが、野尻村の方から「野」が下についてはおもしろくないなどと意見がでてなかなか決まらなく、これも県の指導で当時の新しい元号「昭和」にちなんだ「昭和村」と名づけられました。

昭和2年(1927年)、正式に昭和村が誕生しました。村民の長年の願いであった高等科も、下中津川小学校の中に設けられ、川口村まで行かなくても高等小学校をでることができるようになりました。

この頃の村民の暮らしは、いぜんとして楽にはならず、特に昭和5年の不景気による、農作物の値段の暴落によって、各農家では徹底的な打撃をうけ、ひどい生活を強いられました。

敗戦と新制中学校の設置

昭和20年(1945年)8月15日、まる8年にわたった戦争が終わりました。村には戦争による爆撃や被害もなく、豊かな自然も昔のまま残りましたが、村全体で174名の戦死者があり、戦争が人びどの心に残した傷は深く長く消えることがなかったのです。平和はよみがえりましたが、人びどの生活の苦しき、世の中の混乱は数年にわたって続き